

横浜港の将来像を支える5つの仕組み

■横浜港の6つの将来像を支える5つの仕組みづくりを推進します。

1 交通ネットワークの拡充



- ◎陸上交通ネットワークの拡充
- ◎水上交通ネットワークの構築
- ◎都心部や主要観光スポットの回遊性の向上
- ◎国内外からの交通アクセス性の向上

4 安全・防災システムの強化



- ◎災害に強いみなとづくり
- ◎災害時の避難・救援・復興拠点となるみなとづくり
- ◎危機管理体制の強化

2 物流ネットワークの拡充



- ◎内航海運・鉄道の活用によるマルチモーダル化の推進
- ◎最先端のITの活用や共同化による効率的な物流システムの構築
- ◎国内各地からのアクセス性向上と市内交通の円滑化

5 協働の仕組みづくり



- ◎国・関係機関や周辺港湾との連携の強化
- ◎民間と行政の役割の適切な分担とNPOとの積極的な連携の推進
- ◎市民の計画策定段階からの参加と、市民の理解と協力に基づく計画の推進

3 港と街が一体となったまちづくり



- ◎港から山の手まで連続性のあるまちづくり
- ◎“ひと”と“もの”、移動手段に合わせた多様なスケールのまちづくり
- ◎みなとまちの歴史を大切にしまちづくり
- ◎海からの景観も考慮したまちづくり
- ◎美しく風格あるまちづくり

